

ふれあいのある心豊かな「福祉のまち」枝光一区

八幡東区枝光第一地区民生委員児童委員協議会
会長 永田 恭子

【地区の概況】

枝光一区は、八幡東区東部の傾斜地に位置し、八幡製鐵所の発展とともに形成された、山坂がとて多いまちです。

現在は、世帯数1008世帯、総人口は約2300人で高齢化率が40%を超えるとともに、人口減少による空き家や空き地の増加が大きな問題となっています。

地区民児協は、世帯担当委員5名、主任児童委員2名で構成され、日々の見守り活動を通じて地域の実情把握に努めています。

【活動状況】

枝光一区は、まちづくり協議会の構成団体として、地区の民児協、社協、自治会や老人会が参画し、各種事業や地域行事に諸団体が一体となって取り組んでいます。地区民児協は、毎月の定例会で活発な意見交換を行い、活動上の不安や課題等の解決の場となっています。



区内巡視の風景



防災マップの見直し

5月には、九州大学の学生と一緒に自治会の区内巡視に参加し、昨年の台風や豪雨による、崖崩れ、雨水被害等が起きた場所の現地視察を行い、その後のワークショップで町内ごとに、風水害等に備えるため防災マップの見直しを行いました。

また、休日を除いた児童の登校時に、まちづくり協議会の構成団体と連携して、八幡小学校安全見守り隊「オレンジジャー」として、通学路に立つなど、見守り活動を通じてまちの安全性を高め、犯罪防止に努めています。

今後も学校、多くの団体や地域で活動をされている皆さんと連携しながら、誰もが安心して生活できる地域づくりのために日々の活動を続けてまいります。

活動最前線 ほつとひろば

主任児童委員を経験して

門司区西門司地区民生委員児童委員協議会
主任児童委員 小野山 三枝子

6年前の私は、地域に民生委員の言葉はうっすら知っていましたが、特に関わりを持つ事もなく、子育て時代を過ごしてきました。当時、主人と子どもは、仕事をしていたし、空いた時間に『支えあう住みよい社会地域から』の(地域から)と思う気持ちがあった所に、ボランティアの話を頂き、子どもの学校でPTAの委員をしていったような軽い気持ちで、お引き受けをしてしまいました。この主任児童委員という言葉すら知らず最初の3年間は、先輩委員と色々な行事等に参加同行致しました。その中で段々と、これは大変な役目、ボランティアだけでなく感じました。後半の3年間は、コロナ禍の中で孫の誕生も加わり、

僅かな活動しか出来ませんでした。その中で、昨年片耳の不自由さに気付きました。主任児童委員として60歳の定年を迎えました、次の方へ繋ぐ事が出来て良かったと思っています。

これからは、家庭第一に自分の出来る事を無理せず自問自答しながら、過ごしていきたいと思っています。



新会長就任ご挨拶

北九州市民生委員児童委員協議会会長 中杉 長男 (小倉北区)



令和4年12月1日の一斉改選後、北九州市民生委員児童委員協議会の会長に引き続き就任いたしました中杉でございます。今までと同様に格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和5年の年頭にあたり、民生委員・児童委員をはじめ関係者の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。これから3年間、皆様とともに、地域福祉の増進と安心・安全なまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

現在、社会や地域のありようが変化するなか、社会的孤立や生活困窮、子どもの虐待の増加など、地域の抱える課題の複雑・多様化が大きな課題となっています。私たち民生委員・児童委員は、日頃から顔の見える関係づくりや支援の必要な人に寄り添った対応が求められています。国はいま、人びとが様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民の方々が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けて取り組みを進めています。

本市においても、少子高齢化とともに、孤立やひきこもり、経済的困窮による将来の生活不安など、様々な課題を抱え、支援を必要とする人々が増加しており、地域として自助、共助の活動をさらに進めていく必要があります。今後とも、民生委員・児童委員として地域の幅広い関係者と連携し、地域のつながり、地域の力を高めながら、『誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくり』に向けた活動の更なる充実をめざしてまいります。おわりに、皆様のますますのご活躍とご健康を心より祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

新役員紹介 一斉改選に伴う、北九州市民生委員児童委員協議会の新役員をご紹介します。

● 市民児協副会長 ●

筆頭副会長 八幡東区 森野 恵子	副会長 門司区 小島 有然	副会長 小倉南区 川崎三英子	副会長 若松区 新宅 吉見	副会長 八幡西区 松下喜久代	副会長 戸畑区 幾島登志雄

● 市民児協理事 ●

門司区	岩谷くる美	五阿彌敏美
小倉北区	城田 泰子	前田 純恵
小倉南区	松本 敦子	西本 澄雄
若松区	宇崎 明則	阿部 芳美
八幡東区	馬場 京子	河野はつえ
八幡西区	野中 悦子	渡邊 靖久
戸畑区	吉川加代子	松尾 定俊

令和4年度 一斉改選 民生委員・児童委員配置状況 (令和4年12月1日現在)(単位:人)

区(地区数)	定数	世帯担当委員配置数			主任児童委員配置数			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
門司(17)	194	59	93	152	8	23	31	67	116	183
小倉北(23)	321	79	184	263	6	37	43	85	221	306
小倉南(24)	302	94	149	243	2	45	47	96	194	290
若松(12)	138	45	64	109	1	23	24	46	87	133
八幡東(12)	138	40	70	110	0	23	23	40	93	133
八幡西(33)	386	75	224	299	3	57	60	78	281	359
戸畑(12)	114	23	64	87	3	18	21	26	82	108
合計(133)	1,593	415	848	1,263	23	226	249	438	1,074	1,512

※平均年齢 65歳(世帯担当委員:67.5歳、主任児童委員:52.6歳)

近年の一斉改選の状況

一斉改選年	定数(人)	配置数(人)	充足率(%)	地区数(地区)
H25	1,568	1,539	98.2	132
H28	1,582	1,541	97.4	133
R1	1,591	1,527	96.0	133
R4	1,593	1,512	94.9	133

報告 令和4年度 北九州市民生委員児童委員大会

日程：11月11日(金) 場所：北九州ソレイユホール(小倉北区)

新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となった今大会は、小倉南区が当番区として、大会の進行や会場設営、誘導等を行い、市内から約1,100名が参加しました。

第1部の式典では、北橋市長および鷹木市議会議長から、民生委員児童委員に関する感謝の言葉をいただきました。その後、表彰においては受賞者451名と2地区を代表して、北九州市長表彰を受賞した小澤信子氏(小倉南区曾根地区)が代表謝辞を務めました。

続く第2部では、福岡県立大学人間社会学部の村山浩一郎教授を講師にお招きし、大会テーマでもある「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」ご講演いただきました。地域福祉の動向や、民生委員・児童委員としてどのように活動するのかについてわかりやすくご教示いただき、盛況のうちに大会は終了しました。



小澤信子氏による代表謝辞



式典の様子



講師 村山浩一郎 氏

特集 こんなときどうする? ~活動記録の書き方①~

市民児協広報委員会では、活動記録を自分たちの活動として考える機会をもつために、地区会議等でのよう記録していくのかを話し合う研修材料となるよう、事例を掲載することにしました。下記の実例を活用して活動記録の書き方について考えてみましょう。

活動概要	相談・支援件数		その他の活動件数						訪問回数		連絡調整回数	
	内容	分野	把握調査・実態	調査への参加、協力	行事・事業・会議への参加	地域福祉活動・自主活動	民児協運営・研修	証明(調査・確認等)事務	要保護児童の発見の報告・仲介	活動・連絡	その他	委員相互
			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
事例1												
事例2												
事例3												

編集後記

広報委員会「民児協だより」が少しでも皆さんの役に立てればと、前48号から「こんな時どうする、民児協活動?」「民生委員のQ&A」という新コーナーを作りました。ぜひ地区の定例会でも取り上げてみてください。又、活動での悩みや質問などお待ちしています。

※2頁〜4頁の寄稿者等の役職は、一斉改選前のものです。

広報委員(戸畑区) 車場 久美子

事例①

ひとり暮らしの高齢者のAさん宅を見守りのために訪問し、元気であることを確認した。その時、Aさんに介護保険の利用申請について相談されたため、区役所に電話し、介護保険の申請方法を確認した。

事例②

区役所保健福祉課に協力して、のびのび赤ちゃん訪問事業のため、乳児のいる家庭を訪問し、困っていることはないか、声かけを行った。

事例③

月末に活動記録の整理、点検と件数集計を行った。また、民児協の定例会が日程変更となったため、同じ地域の委員5名に電話連絡した。



地区会長には事前に記入例をお渡ししますのでご活用下さい。活動記録の書き方の参考は次号にて!

報告 令和4年度 全国民生委員児童委員大会(愛知大会)

日程：10月19日(水)~20日(木) 場所：名古屋国際会議場

令和4年度の全国民生委員児童委員大会は、全国の民生委員・児童委員および民児協関係者2,600名を超える参加により開催され、本市民児協からは民生委員・児童委員25名と事務局4名で参加しました。

大会1日目は、式典、表彰、特別講義、大会宣言、アクションが行われ、本市からは優良地区民児協として門司区の森江東地区、永年勤続単位民児協会長表彰に2名、永年勤続単位民児協役員表彰に2名、功労者表彰に30名、永年勤続表彰に92名が表彰されました。

大会2日目の活動交流集会では、開催地をはじめとした全国各地の活動事例の紹介と活動に関わる課題を聞き、今後の活動のヒントを学びました。シンポジウムでは、国がこども家庭庁の設置を進めている中、民生委員が児童委員を兼ねる意義を改めて意識して活動することの重要性が示されました。



1日目：式典



2日目：活動交流集会



参加者全員での集合写真

参加した委員からの感想

・小倉北区北小倉地区民児協 中川 智左子 会長

カレーハウスCoCo壱番屋の創業者、宗次徳二氏の話の中で、「目の前の困っている人の手助けすることは当然」という言葉を聞き、改めて手を差し延べることの重要性に気づかされました。2日間行動を共にした他地区の民生委員と情報交換ができたことも収穫の一つです。

お知らせ

なり手確保のためのアンケート調査結果
~市民児協 活動研究委員会~

民生委員・児童委員のなり手確保に向けた取り組みについて、市内133の地区会長を対象としたアンケートを実施し、8月に市内の各地区会長へ調査結果を配付しました。今回の調査で最も重要とされたのは、地域団体(自治会、まち協、社協、PTA、老人クラブ、婦人会等)と日頃からのつながりを大切にする事、普段から顔の見える良好な関係づくり等が有効との意見がありました。今後の委員選任に向けて参考にしていただき、地区民児協での話し合い等でご活用ください。



なり手確保のためのアンケート(表紙)

♪第34回リレーエッセイ

若松区深町地区 民生委員児童委員協議会

末益 節子

27年間民生委員をさせていただき、無事に務め上げられたのは、地域の皆さんのおかげだと思っています。民生委員になる時は、主人も子どもたちも大反対をしてみました。で、不安を抱えての出発でしたが、見守り訪問の際に、私が「お変わりないですか。」と伺うと「ありがとう、あんたも体に気を付けてね。」と反対に私のことを気にかけてくださることも数多くあり、安心して活動することが出来るようになりました。こうした地域の皆さんの優しさがあったからこそ、続けてこられたのであり、いつの間にか私の生きがいとも言える活動になっていました。また、区役所でも実施されていた「心配ごと相談」にも関わらせていただき、様々な方の悩み事に、一緒に向き合うことで、たくさんの勉強もさせていただきました。今後はこれらの経験を糧にしながら、地域が皆さんにとって住み良い所になればとの願いを込めて、何らかのお手伝いが出来ればと思っています。長い間、本当にありがとうございました。

民生委員活動を
終えるにあたって

今回は、八幡東区の民生委員・児童委員さんです。お楽しみに♡